

## 「勝つこと」で伸展し 「負けざること」で成長

(武田信玄)は「四十歳より内は勝つように、四十歳より後は負けざるように」と言って、青年期と壮年期に入ってから戦い方を変えた。家臣もまた豪勇無双の武将と知略に秀でた武将を使い分けて、組織づくりを盤石のものとしている。企業

も全く同様で、創業時は積極果敢な攻めの姿勢を貫かねばならない。そして成長しながら人材を育て、機を捉えて一気に伸展、後は安定経営を心掛けることが肝要だ。

「在宅リハビリマッサージ」という新しい領域で事業を伸ばし、高い成長軌道を続けてきているアグレッシブカンパニー。高齢化社会に欠かすことのできないニーズとあって、その真摯な対応と誠実な社風に寄せられる信頼は厚い。昭和50年生まれの小野氏が25歳で立ちあげた同社。時代に求められ、人に恵まれたがゆえの成長と言えよう。またリラクゼーションサロンの展開も、着実に伸展し、「万人の身体的精神的ストレスに対応できる総合医療福祉サービス企業」たる業容を固めている。まさしく「勝つこと」(在宅リハビリ)と「負けざること」(リラクゼーション)という2本柱を構築した同社の真骨頂だ。創業以来の幹部と現在の急成長を支える若いスタッフとの風通しもよく、「サンメディカルイズム」という原点を全員が共有。「人は城、人は石垣、人は財産」の理念を貫き、他社の追随を許さない先進性と行動力に富んだ経営基盤を確立した。